

二十歳の決意発表

私は、大学でボート部に所属していて、「全日本選手権優勝」と「インカレ4連覇」という目標に向かい精進しています。将来は、大学や部活で培ったものを活かし、消防士を目指しています。これからの人生に覚悟を持って挑んでいきたいです。



中島 広大 さん

現在、実家の家業を継ぎ、今後の人生で自分に何ができるか、どれだけの意義に過ぎせるかなど自分の未来に思いを馳せている最中です。触れたことのない文化や、いろいろな人たちと関わり、自分の感性を豊かにできるような経験を積み、成長していきたいです。



黒木 嘉津才 さん

～If you Hit a wall, break it down!～

1月7日(日)、パトリア日田で、令和6年日田市20歳のつどいが開催されました。市では、成年年齢が18歳に引き下げられて以降も、20歳の人を対象として開催しています。今回、その節目を迎えた625人の内510人が式典に参加しました。

第一部では、棕野美智子市長が式典のサブテーマに関連して、「一人では乗り越えることができない壁にぶつかったときは一人で抱え込まないで助けを求めてください。助けられるだけではなく時にはあなたが助ける側に回る、そんなネットワークの広さと豊かさがこれからの人生の大きな力になります」と激励の言葉を送りました。その後、実行委員の黒木さん、中島さんの2人が「二十歳の決意発表」を行いました。

第二部では、思い出写真のスライドショーをバックに日田林工高等学校吹奏楽部の演奏や、実行委員長の鯉川さんの贈呈、最後は、恩師からのビデオメッセージがスクリーンに映し出され、会場は、終始和やかな雰囲気の中で温かい拍手に包まれていました。最後は、実行委員6人がステージ上で挨拶をし、式典は幕を閉じました。

